



# ゼロから創る奈良

奈良市長

2014.7.12 Vol.71

仲川げん  
ニュースレター

書：紫舟

NEXT

4

## TOPIC

## 消滅可能性自治体

全国の自治体のおよそ半数が、2040年には20代～30代の女性が半減する「消滅可能性都市」に陥ると警鐘を鳴らした「増田レポート」の衝撃は大きく、6月議会でも質問が相次ぎました。県内でも市部では72%減が予測される宇陀市から、僅か1.8%減に留まる香芝市まで幅が広いのが特徴で、奈良市は45.6%と12市中6位となっています。

人口減少については以前より指摘されてきましたが、今回のレポートでは特に地方から都市部への人口流出が与える影響（社会動態）に着目し、地方の若者による「人口の再生産力」が街の存続を左右するとしています。

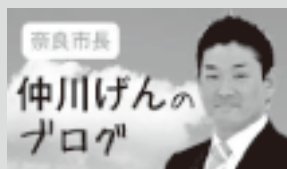
実際に過去10年間の奈良市の人口増減を調べてみると、例えば10年前に20歳～24歳の女性人口は約1万2千人でしたが、10年後に30歳～34歳になると約1万人に減っているという状況があります。これは死亡された方を除けば市外・県外へ転居された方（厳密に言えば転入者と転出者の差）が多かったと言えます。

現在、政府では新たな地方戦略の1つとして地方

中枢拠点都市という制度を検討しています。これは地方の人口20万人以上の都市が核となり、近隣自治体と共同でより高度なサービスを効率的に提供しようとするものです。従来市の町村合併方式では、街のアイデンティティが失われるという危機感から前向きに進まなかった地域でも、各自治体は存続させたまま、運営面の共通化で合理化メリットを得られるという利点があります。まずは三大都市圏以外で、かつ昼夜間人口比率1以上が条件となっていますので、典型的なベッドタウンである奈良市は対象外となりますが、引き続き国に対し要件緩和を訴えて行きます。

いずれにしても、今回発表されたレポートが地方都市に暮らす私たちに与えたインパクトは大きいものがありますが、過剰反応も動揺しか生まないと考えます。しっかりとしたデータに基づき、都市の未来像を予測してスピード感のある対策を矢継ぎ早に打つことが重要です。特に女性や若者の活躍しやすい環境を作ることが、人口減少のみならず地方の活力と革新をもたらす最大の成長戦略とも言えます。奈良市でもこれまで以上に独自の対策を総合的に講じて行きたいと思います。

市政の動きやmanifestoの進捗状況など、最新情報はツイッター、ブログにて更新中!



@nakagawagen

仲川 げん

### Profile

1976年奈良県生まれ。立命館大学卒業後、国際石油開発帝石(株)及び奈良NPOセンターを経て2009年7月、奈良市長に就任。入札制度改革や土地開発公社の解散、ごみ行政の刷新など様々な市政改革に取り組む。日本のルーツとして世界から尊敬される奈良をめざす。現在二期目。二児(4歳と2歳)と妻の4人家族。中核市市長会副会長。AERA「日本を立て直す100人」に選ばれる。

# 活動報告

[ 2014.4 - 2014.6 ]

仲川げんの動きをダイジェストでお伝えします。  
さらに「見える市政」の実現に向け、市HPでは「奈良市ニュース」を毎週金曜日に配信中!

4/18

観光



世界最大の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」代表原田静織さんと対談。ならまち格子の家が、行ってよかった!無料観光スポット2013で7位に!

4/20

環境



アースデイ奈良にて、山下生駒市長と環境施策について対談。腹話術で話す人形と楽しくわかりやすく話をしました。

4/21

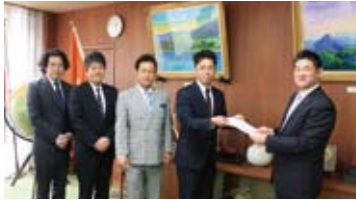
スポーツ



プロバスケットボール「bjリーグ バンビシャス奈良」のメンバーが来庁。

4/21

経済



奈良商工会議所青年部が「奈良市創業支援事業に関する提言」を提出。

4/24

教育



富雄中学校での給食提供がスタート。市内全中学校での完全給食実施をめざします。

4/25

子育て



インドネシア政府関係者が、子ども参加の取り組みについて視察のため、認定こども園都跡幼稚園を訪問。

4/28

観光



関西テレビ「第2次さんま内閣」収録。奈良のうまいものと奈良で頑張る人が取上げられました。

5/7

行革



市役所北棟の3階・4階の各課の間仕切りを撤去しオープンフロア化。今後も利用しやすい庁舎に向けて改善を進めていきます。

5/24

教育



大安寺バンビーホーム新築お祝いの会に出席。児童からは歌や手作りのプレゼントが。

5/28

経済



奈良県産いちご「古都華」を、奈良が誇るブランドとして確立すべく、平群町と「古都華産域連携協定」を締結。

6/9

環境



環境月間街頭啓発。市役所でもグリーンカーテンとしてゴーヤを植え、昨年は食堂での提供も!

## NEXT NARA

## 二期連続、退職金返上!

一期目の公約で掲げた市長退職金の返上を、二期目も引き続き「不支給」とする条例案を本年3月議会に提出。可決されたことにより二期連続の返上が実現しました。元々、市長の退職金は4年の任期ごとに支払われ、特に奈良市では一期4年で3,450万円と高額なことで知られていました。

確かに「政治家の報酬は安ければ安いほど良い」「仕事をしないから報酬を下げるべき」という論調もありますが、私はあくまでも報酬に見合う成果を出すことで期待に応えるのが本来の形だと思っています。一方、一市民の立場で見たときに、あまりにも高

額な退職金について違和感を覚えるという声は、一期目の選挙の際から非常に大きいものがあったのも事実。厳しい財政状況の中、職員の給与や退職金もカットしている中で、首長としての姿勢を示す事も重要だと考え今回の決断に至りました。

なお、この「退職金返上」はあくまでも特例措置であるため、いわゆる「定価」を下げるには条例上の規定自体を見直す必要があります。この点については既に退職金の算定基礎となる支給率と給料月額を引き下げる改正を行い、条例上の金額も2,666万円にまで引き下げています。

## 仲川げん後援会

〒630-8301 奈良市高畑町826-1  
FAX:0742-26-0398

ボランティア  
募集中!

### ■ ご意見をお待ちしています

「市長への手紙」であなたの声をお聞かせください。「市長への手紙」は、市民の皆さんの市政に対するご意見やご提言を広く市政に反映させる制度として実施します。専用封筒は、市役所や公民館などの市の施設に配置しています。詳しくは、奈良市役所広報広聴課までお問い合わせください。

